

報告者

森 俊明

名 称	厚生労働省による徳島県内有床診療所の視察
日 時	令和5年1月29日(日)
場 所	徳島県内の有床診療所

## 視察側名簿

厚生労働省医政局地域医療計画課長	鷺見 学
日本医師会常任理事	神村裕子
日本医師会地域医療課課長	青木克仁
日本医師会地域医療課地域包括ケア推進室	土屋直人
全国有床診療所連絡協議会会長・徳島県医師会会長	齋藤義郎
全国有床診療所連絡協議会常任理事・徳島県医師会副会長	森 俊明
徳島県有床診療所協議会副会長	岡田祐司
徳島県医師会顧問(前徳島県医師会会長)	川島 周

## 視察先の徳島県有床診療所協議会会員施設

馬原医院 (阿南市)	馬原文彦 橋爪史子
鈴木内科 (吉野川市)	鈴木率雄 鈴木直紀
さくら診療所 (吉野川市)	松村武史 吉田 修

全国有床診療所連絡協議会主催による厚生労働省の視察が、昨年12月の茨城県に引き続き、今回は徳島県において実施された。これは毎年施設数の減少に歯止めがからず、地域の病床が減少していく有床診療所の状況を直に視察することで、理解を深めていただく機会となっている。

今回視察をお願いした施設は、県央部から離れた地域で介護・在宅・救急等、複合的な機能を複数医師で果たされている3か所の有床診療所である。

鷺見課長からは、地域包括ケアシステムの入院機能として在宅から受け入れ、さらに高次救急医療への繋ぎを現実としてどう動いているのか、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した場合に通常医療へ移す際の課題、等についてそれぞれの施設に質問があった。

馬原医院では「馬原アカリ医学研究所」を見学し詳しく説明を受けた。広い診療圏で唯一の病床であり、今後は災害発生時を見据えた機能も構想に入れていること、職員確保の苦労や老朽化した施設の建て替え時の課題等について話し合った。

鈴木医院では、職員とともに医師の人材確保が課題となっていること、地域の休日当番制の体制維持が困難なっている状況、入院患者の転院、高次救急搬送、発熱外来による一般外来の制約

等が話題となった。

さくら診療所では医師 5 人体制で医療・介護を行っているが、特に新型コロナウイルス感染症以降は広域の患者の受け入れ依頼が多くなり、発熱外来では電話が鳴り止まない状況が続き、また外傷患者も多いため医療・事務スタッフ等の人材確保に苦慮している等の話があった。

今回の視察先は敢えて市中部でなく、地域包括ケアシステムの中で数少ない入院機能を持つ地域の有床診療所とした。素晴らしい医療・介護を展開し、個性も豊かで、視察団一行に強い印象を残したと思われる。若年人口の減少による地元スタッフの確保困難、職員の高齢化、事業承継など地域の有床診療所の課題として共通するものがあるが、その中で誠心誠意、地域のために頑張っておられる先生方と有意義な懇談ができたことは、今回の関係者皆様に感謝を申し上げたい。特に事前から熱心な準備をいただき、休日にもかかわらず御対応をいただいた馬原医院、鈴木内科、さくら診療所の先生、スタッフの方々には改めて御礼を申し上げる。

特記事項	
検討課題	





### 有床診療所としての当院の役割

#### ◆ かかりつけ医 健康コーディネータ

- ・ 一人の医師が経時的に観察する
- ・ 各専門医連携へのトリアージ機能

#### ◆ 病診連携 診診連携

#### ◆ 在宅医療









# さくら診療所



全面禁煙  
喫煙者の方には  
ご迷惑をおかけいたします  
ご協力をお願いいたします



SOF  
CA



